

広報版

信濃小中学校だより そよげわか竹

挑む！「新」な児童生徒会物語

『新あらたく挑め！さらなる高みへ』これは、今年度の児童生徒会スローガン。昨年12月の引継ぎ後、総務会で時間をかけて導き出したスローガンです。この春卒業した9年生は、『超越』をスローガンに、学年を越えた様々な交流活動を通して全校をひとつにまとめあげ、日常生活の向上に取り組んでくれました。そんな先輩たちを「越えることができました。そんな先輩たちを「いや、越えようとするより新しい道



9年生を送る会での劇①

を見つけていけば……」でも越えたいよね」「越えるという時点で原点は過去の9年生。新たなことをするっていうのはそういうことじゃないんじゃないかな……」連日、総務会のメンバーから意見が飛び交いました。今年、開校してから6年目。開校当時、今の9年生は初等部のリーダー4年生でした。開校間もない頃は、何をどうしていくのか手探り状態。初等部のリーダーといっても、今のよう



9年生を送る会での劇②

リーダーらしい活動はまだそんなにありませんでした。いかなれば、8年間、一度も学校全体を動かす活動を行うことなく9年生になった生徒たちです。そんなリーダーの経験が少ない生徒たちが児童生徒会を引継いだらどうなるのか……。12月の引継ぎ後、その答えが見えてきました。先輩たちが進める最後の児童生徒総会では、当時の8年生の多くが質問意見を出し、リーダーとなる意欲を見せました。初めての第1回児童生徒会



8年生全員で9年生を送る会の会場作り（3月）



9年生を送る会での出し物の歌



引継ぎ会で丁寧にまとめられた引継ぎ資料を受け取る



課題のあいさつを改善しようと「あいさつ week」



緊張感のある初めての委員会



児童生徒総会で意見を出す8年生（2月）

は、緊張しながらも事前に綿密に立てておいた計画を基に、立派に進行する正副委員長たち。その後、各委員会が考えた児童生徒会企画も、今までの活動をそのまま実施するのではなく、自分たちなりの新しい要素を付け足して実施することができました。特に、「あいさつ week」は、早くも全校を夢中にさせることができました。見事に児童生徒会を運営していく生徒たち。そして、その力が最も発揮されたのが先月行われた9年生を送る会でした。

「本当は泣く予定ではなかったけど、涙が自然とあふれてしまいました」「委員会などで私たちが頑張ってきたことはムダじゃなかったと思うと本当に本当に感動しました」「今までの8年生とは目つきが違って、歌っている時、一人ひとりが口を大きく開けていて、本当にうれしかった。これなら信濃小中学校を任せられます!!」など、卒業を間近にした9年生から感謝のメッセージが届きました。リーダーとして自立した行動で会全体や劇を創り上げた総務会。7・8年生の発表をまとめあげて本気の姿に仕上げた代議員。当日、率先して動き、会を支えた正副委員長たち。そして、今の9年生全員が一丸となって会場の準備から片付けまで誰一人手を抜くことなく取り組んだ結果、送られる9年生の心を見事に動かしました。次は、全校の心を動かす番です。「超越」の先にある「新」な物語は、全校にどんな感動を生み出すのか、新リーダーとなった新しい9年生の挑戦がこれから幕を開けます。